

平成 21 年 6 月 2 日(火)

健康・美容情報

ほとんどの人は、小さめの靴を履いている事実
きちんと自分の足のサイズを知ることが大切です-その2

みらいクリニック 院長 今井一彰

靴を買うときには、裸足で足長を測ってもらうこと、そして立った状態の足長に併せることです。実際に測定してみると、多くの人で5mm程度立ったときの方が長くなります。靴というのは、歩行や起立の時に必要なものですから、その状態での足長が大切なのです。そうすることによって、靴の中で足指が自由に動くことが出来るスペースが生まれます。

足指や足爪の異常の悩みは特に女性に多く、普段の靴・パンプスや筋力の問題と言われています。これらを改善するには、従来より靴外来・フットケア外来がありました。が、かける費用の割には満足な結果を得られることが少ないのが現状でした。当院では、専用の靴下(CS ソックス)を用いて着用するだけで、様々な身体の不調を改善する日本で唯一(当院調べ)の靴下外来を平成 19 年より開設しております。靴下外来に関する取材もお時間の許す限り、対応しております。

この件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

みらいクリニック附属リウマチ&フットケアセンター 担当 湯浅

TEL 092-415-2153 FAX 092-415-2154

Eメール secretary@mirai-iryu.com